

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

西多摩の状況

<H27報告とH26報告の比較>

- ・この区域では年度間でほとんど変動がないが、東京都全域で見ると、高度急性期機能はH26年31,000床強がH27年では約23,500床で、約7,500床減

<H27報告の特徴>

- ・高度急性期機能の稼働率は低く、平均在院日数は大変短い
- ・高度急性期機能を選択した病床は他の構想区域と異なり、救命救急入院料やICU、HCU等を届け出ている病床のみ
- ・報告のあった病床数の半数以上が、慢性期機能を選択

<H27報告と将来推計>

- ・急性期を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は1,562床。慢性期は2,428床
- ・将来(2025年)の患者数は急性期相当(600~3,000点)で754人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は967床。慢性期は1,357人で1,475床
- ・但し、左記のとおりそのまま比較できるものではなく、急性期で約600床、慢性期で約1000床減らさなければいけないという見方ではないことに留意

- ・そのままの比較は困難だが、将来推計において高度急性期機能が病床全体の7.3%を占めるのに対し、自己申告の値は0.9%、回復期機能の推計が27.5%を占めるのに対し、自己申告の値は5.2%とかなりのひらきがある。

- ・こうしたデータを参考にしながら、西多摩において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

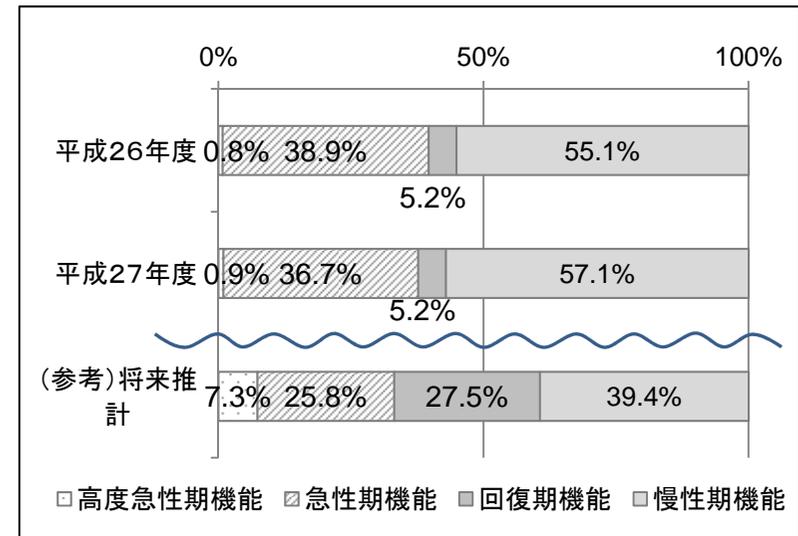
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度報告結果	33床 0.8%	1,637床 38.9%	220床 5.2%	2,321床 55.1%	4,211床 100.0%
平成27年度報告結果	39床 0.9%	1,562床 36.7%	223床 5.2%	2,428床 57.1%	4,252床 100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

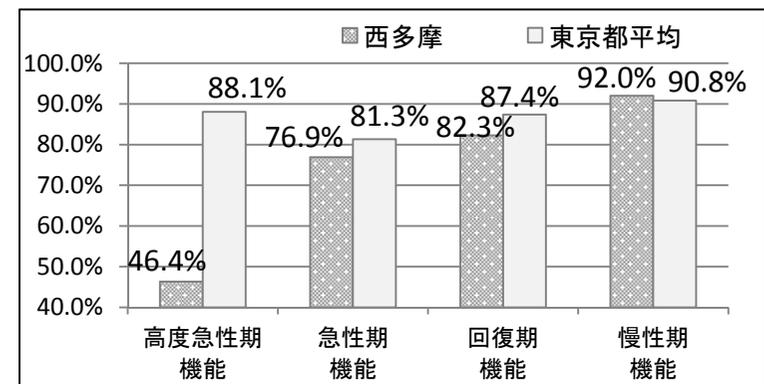
(参考) 将来推計	患者数	206人	754人	928人	1,357人	3,245人
	病床数	275床 7.3%	967床 25.8%	1,031床 27.5%	1,475床 39.4%	3,748床 100.0%
2013年推計足元	病床数	235.8床	792.5床	788.0床	2,316.7床	4,133.0床



<データ2> 4機能と入院基本料 (床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能			
1 救命救急入院料	28	一般病棟7対1入院基本料	960	回復期リハビリテーション病棟入院料	223	療養病棟入院基本料	1,355
2 ハイケアユニット入院医療管理料	6	一般病棟10対1入院基本料	340	有床診療所入院基本料	10	介護療養病床	572
3 新生児特定集中治療室管理料	3	一般病棟15対1入院基本料	116			障害者施設等入院基本料	60
4 特定集中治療室管理料	2	有床診療所入院基本料	64			有床診療所入院基本料	38
5		小児入院医療管理料	43			一般病棟13対1入院基本料	36
		一般病棟13対1入院基本料	43			緩和ケア病棟入院料	36

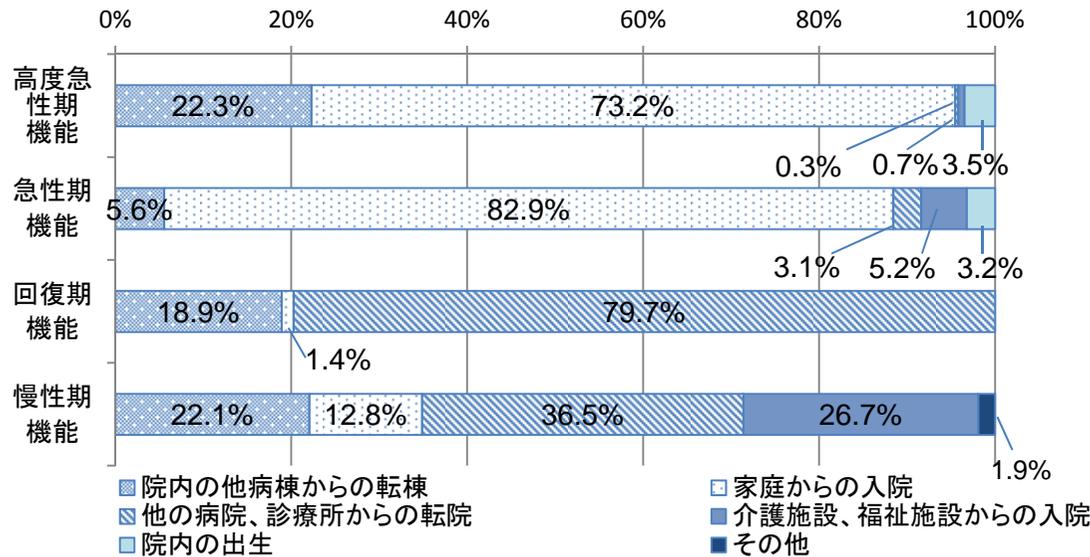
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



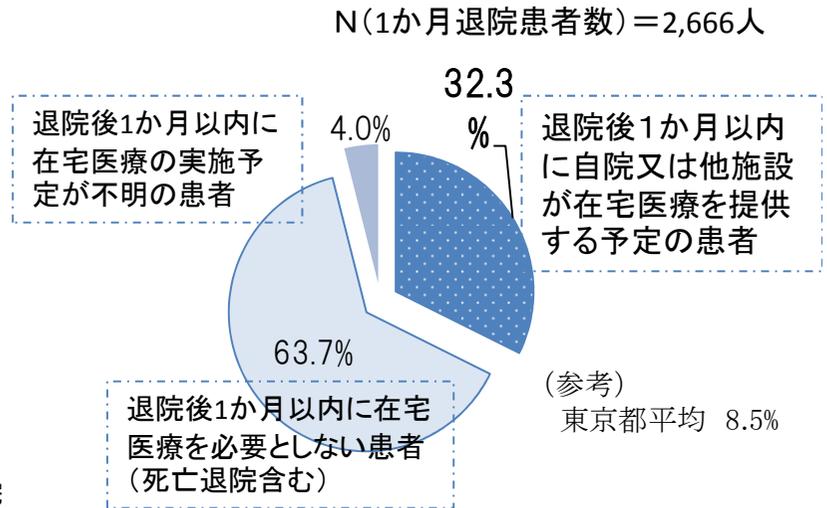
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

機能	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
平均在院日数	1.9日	10.8日	83.7日	142.6日

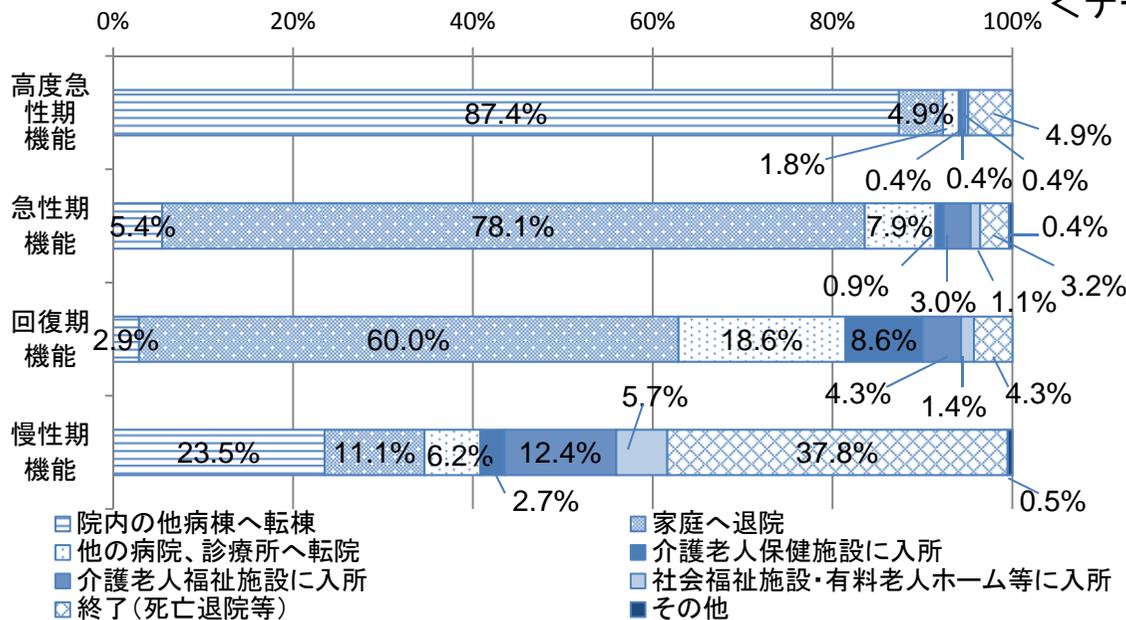
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所(病院)



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合(病院)



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所(病院)



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	5施設	41.7%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	6施設	50.0%
緊急時に対応する機能	3施設	25.0%
在宅医療の拠点としての機能	5施設	41.7%
終末期医療を担う機能	5施設	41.7%
いずれにも該当しない	2施設	16.7%

注 報告のあった12施設を集計。複数回答可。